

一般質問⑤ 政友クラブ 久保 忠一

農水産物等の風評被害対策を含めた放射性物質の自主検査の実施と安全安心PRについて

行うべきと考えるが。答、安房3市一町とも協力し、安全安心PRに努力します。

問 今回の原発事故による放射性物質を測定でき、厚労省の測定マニュアルにも適合する測定器を市で常備できないか。

放射線物質チェックと並んで科学的理論・根拠に基づいた啓発・教育活動の実施について

答 これまで、水道、海水、土壌は委託調査し、問題ありません。費用は一検体3万、期間は1週間です。大学の協力で無料実施もありました。県では6月議会です。

問 一般的に放射線の数値などに過敏になり過ぎ、「正しく恐れる」ことができず、神経をすり減らす傾向にならるので、教育啓蒙についてどう考えるのか。

答 放射性物質の被害はすぐ目に見えない為、基礎知識を身に付け冷静に対処して頂くために、図書館の特別コーナー、東洋大との交流事業、家庭教育学級や公民館教室で講座を行い予定です。学校現場でも、教員向けと保護者向けの資料提供も行いました。

問 例えは外部被曝と内部被曝の違いの問題など要点を整理する意味で、専門家によるわかりやすい解説が必要で、児童と一般向けに講演会を行うことを提案するが。

問 市内では、特定の医療機関では当該測定器は常備しており、市として調整ができないか。

問 例えは外部被曝と内部被曝の違いの問題など要点を整理する意味で、専門家によるわかりやすい解説が必要で、児童と一般向けに講演会を行うことを提案するが。

問 早速その方策等について協議します。

問 例えは外部被曝と内部被曝の違いの問題など要点を整理する意味で、専門家によるわかりやすい解説が必要で、児童と一般向けに講演会を行うことを提案するが。

問 中学生以上では、理科担当教員と教育委員会で効果的な学習方法について検討すると同時に、今後の動向を踏まえ専門家による講演会を検討して行きます。

問 例えは千葉市内の放射線医学総合研究所の発表でも現在の大気の放射線量は一九六〇年代と同じということ、現在の状況を冷静に知るために、過去の核実験や事故について授業でどう扱っているのか。

答 歴史的な事実は、中学生には指導しております。

問 教育現場で風評被害で困ることは。

答 給食の食材やプール等の水質、土壌のことでご心配を頂きますが、安全であるとお伝えしております。

問 市内の家庭の太陽光発電において、電気量の削減による費用対効果を把握しているか。

問 例えは外部被曝と内部被曝の違いの問題など要点を整理する意味で、専門家によるわかりやすい解説が必要で、児童と一般向けに講演会を行うことを提案するが。

答 一概には言えないが、3〜4割程度の削減が見込まれているようです。オール電化を併せて導入すれば削減額はさらに増えます。

問 様々の問題を抱える既存電力を補うために再生可能エネルギーによる発電の推進が望まれる特に太陽光発電は個人レベル設置可能で、これに対する市の助成

問 今後の事業採算性の見通しは。

答 一般論として、今までは問題点が多く、従来の発電方式からは劣るものですが、今回の原発事故により方向性が転換し、今後全体的な信頼性と安定性を国が図っていくことを期待します。

問 太陽光発電の鴨川中学校での実績は

答 平成二一年一月から鴨川市住宅用太陽光発電システム設置補助制度を創設し普及促進を図り、今年五月までで四九件で、本市では1kw当たり2万円、上限は4kw8万円で、交付総額は三五〇万八千円です。市としても引き続き補助を実施したいと考えます。

問 沿岸地域の好風況を利用し、太陽光と共に再生エネルギーCO<sub>2</sub>削減モデル地域計画を策定し、平成一八年十月に経済産業省から認定を受けています。しかし、諸般の事情によりその後民間会社によって1基設置されてはいますが、懸念事項や地域住民の方の不安の問題などを含め、慎重に進めて行きたいと考えます。

問 例えは外部被曝と内部被曝の違いの問題など要点を整理する意味で、専門家によるわかりやすい解説が必要で、児童と一般向けに講演会を行うことを提案するが。